

第139回 全国大学国語教育学会 秋期大会(オンライン) プログラム

1. 日時 2020年10月31日(土)～11月1日(日)
2020年10月31日(土)～11月7日(土) (紙面発表)
2. 会場 秋期大会(オンライン) エントランスページ
<https://www.jtsj.org/taikai/オンライン大会/>
当日資料置き場(課題研究、公開講座Ⅰ、公開講座Ⅱのみ)
<https://www.dropbox.com/sh/o9uuqat6uf87hm6/AAAxndmKSUTPMepi66UCDS8Ha?dl=0>

3. 参加費

- (会 員) 5,000円
- (学生会員) 3,000円
- (非 会 員) 6,000円

※「公開講座」のみの参加は無料になります。

4. 日程

第1日目 10月31日(土)		第2日目 11月1日(日)		10月31日(土)
9:00	開場	開場	9:00	ポータルサイト掲載および質疑応答可能期間 ↓ 11月7日(土)
9:30	公開講座Ⅰ(無料) Zoomウェビナー	課題研究発表 Zoomウェビナー	9:30	
12:30	お昼休み	お昼休み	12:30	
13:30	総会(会員のみ) Zoomウェビナー	院生・若手交流企画 Zoomミーティング	13:30	
14:30			14:30	
15:00	自由研究発表 Zoomミーティング	自由研究発表 Zoomミーティング	15:00	
17:15		公開講座Ⅱ(無料) Zoomミーティング + Youtube Live	17:40	
			17:40	

5. プログラム

【第1日目 10月31日(土)】

9:00	9:30-12:30	12:30	13:30-14:30	15:00-17:15
開場	公開講座Ⅰ(無料) Zoomウェビナー	昼休み	総会(会員のみ) Zoomウェビナー	自由研究発表 Zoomミーティング

◎公開講座Ⅰ(Zoomウェビナー) 9:30～12:30

会場：<https://zoom.us/j/97443835761?pwd=bIY3a0JjVWtpcHRGR3ZQREZ1SGINUT09>

国語科における「論理」教育の射程～「論理国語」の実施も見据えながら～

第2回「学習者の論理」をどのように育てるのか

コーディネーター 寺田守(京都教育大学)

登壇者 間瀬茂夫(広島大学)

辻村重子(八幡市立男山東中学校)

荻原伸(鳥取県立鳥取東高等学校)

◎総会(Zoomウェビナー) 13:30～14:30

◎自由研究発表（Zoom発表）

14:50~15:00接続確認 15:00~17:15 発表20分、質疑応答10分、接続時間5分

14:50-15:00	15:00-15:30			15:35-16:05			16:10-16:40			16:45-17:15	
	20分	10分	5分	20分	10分	5分	20分	10分	5分	20分	10分
全発表者 接続確認	発表①	質疑	接続 時間	発表②	質疑	接続 時間	発表③	質疑	接続 時間	発表④	質疑

A会場 司会：鶴田清司（都留文科大学） 山元隆春（広島大学）

- A1 国語科における情意的領域の学習評価法の研究—文学作品を読むことの授業を中心に—
木村穂乃香（広島大学大学院・院生）
- A2 文学的文章の学習で育成される批判的思考力についての研究
多賀由真（東京学芸大学教職大学院・院生）
- A3 文学教材における手紙を書く学習活動—国語科教科用図書傾向と分析—
田川朗子（福島大学大学院・院生 田村市立大越小学校）
- A4 文学教育における「対話的文学討議(Dialogic Literary Argumentation)」と学習評価—
生徒へのフィードバックを中心に— 山元隆春（広島大学）

B会場 司会：間瀬茂夫（広島大学） 中村和弘（東京学芸大学）

- B1 歴史的文脈に位置づけた読解を促す説明的文章の指導研究
山口真充（東京学芸大学教職大学院・院生）
- B2 「情報」を視座とした小学校「読むこと」の研究
井上幸信（新潟市立新関小学校）
- B3 高等学校における「批評する力」を育成する文学作品の学習指導に関する研究—批評文集を用いた「読みの観点」と「書き方」の習得・活用—
辻尚実（広島県立三次高等学校） 間瀬茂夫（広島大学）
- B4 小学校国語科学習指導要領における思考スキルの抽出—中学校との系統的な思考力
育成を目指して— 小野塚若菜（ベネッセ教育総合研究所）
泰山裕（鳴門教育大学） 中村和弘（東京学芸大学）

C会場 司会：幸田国広（早稲田大学） 細川太輔（東京学芸大学）

- C1 カードゲームで試みる、読書教育
犬飼龍馬（立命館大学教職大学院・院生 立命館守山中学・高等学校）
- C2 （事情により、紙面発表に変更）
- C3 学習経験を用いた指導法の授業の試み
田中耕司（島根大学）
- C4 デザイン・シンキングの考え方を導入した話し合い指導の実践
細川太輔（東京学芸大学）

D会場 司会：望月善次（元岩手大学） 足立幸子（新潟大学）

- D1 外国につながる家庭におけることばの様相—複数のライフストーリーから—
金志唯（広島大学大学院・院生）

- D2 協働的意味構築モデルの提案—小学校2年生の話し合い分析から—
明尾香澄（広島大学大学院・院生）
- D3 米国における説明的文章の読みの評価問題の検討—複数のテキストの読みの過程に焦点をあてて—
村井隆人（中国学園大学）
- D4 国語科教育学の原理的考察（二）—「ベール(veil)・洗練(sophisticae)の法則」の提唱—
望月善次（元岩手大学）

【第2日目 11月1日（日）】

9:00	9:30-12:30	12:30	13:30-14:30	15:00-17:15
開場	課題研究発表 Zoomウェビナー	昼休み	院生・若手交流企画 Zoomミーティング	自由研究発表 Zoomミーティング
				15:00-17:40
				公開講座Ⅱ(無料) Zoomミーティング+YouTube Live

◎課題研究発表(Zoomウェビナー) 9:30~12:30

国語教育の多層性③：リテラシー観の変化は国語科授業をどのように変えるのか？

—情報リテラシーとメディア・リテラシーとマルチモーダル・リテラシー—
コーディネーター 羽田潤（兵庫教育大）

登壇者 植田恭子（都留文科大学）
松岡礼子（大阪教育大学）
砂川誠司（愛知教育大学）

◎院生・若手交流企画(Zoomミーティング) 13:30~14:30

学会発表にはエントリーしていないが自分の研究について話したい、他大学の参加者と研究について交流したい、という院生・若手研究者のための会です（「若手」の定義は「自分が若手と思う人」とします）。当日はZoomミーティングおよびブレイクアウトルームを用いて、おおまかに研究関心が近い方と交流できる場をめざします。奮ってご参加ください。

◎自由研究発表（Zoom発表）

14:50~15:00接続確認 15:00~17:15 発表20分、質疑応答10分、接続時間5分

14:50-15:00	15:00-15:30			15:35-16:05			16:10-16:40			16:45-17:15	
	20分	10分	5分	20分	10分	5分	20分	10分	5分	20分	10分
全発表者 接続確認	発表①	質疑	接続 時間	発表②	質疑	接続 時間	発表③	質疑	接続 時間	発表④	質疑

E会場 司会：松山雅子（四天王寺大学） 住田 勝（大阪教育大学）

- E1 国語科授業における文学体験の必要性—戦後文学教育論を中心に—
大野響（広島大学大学院・院生）
- E2 俳句の読みと創作をつなぐ学習デザイン—探究的な課題による「俳句らしさ」の形成を目指して—
牧周民（上越教育大学教職大学院・院生）
- E3 「想定される作者」を視座にした「読むこと」の授業の可能性
安部真治（東京学芸大学教職大学院・院生 大分市立南大分小学校）

E4 『高瀬舟』模擬裁判の実践的研究

札埜和男（岡山理科大学）

F会場 司会：吉川芳則（兵庫教育大学） 守田庸一（三重大学）

- F1 「書くこと」の学習における共同推敲者に関する研究—小学生による文章産出過程の対話を考察して— 堀口史哲（東京学芸大学大学院・院生 立教女学院小学校）
- F2 プランニングを重視した小学校における「書くこと」の学習指導の研究
 寛理沙子（江東区立北砂小学校）
- F3 紹介文を書くことの学習指導に関する—考察—小学校第2学年児童による内容を詳しく書くことについての実践共同構想者間の評定差に着目して—
 成家雅史（東京学芸大学附属小金井小学校）
- F4 「遠隔授業」における評論文学習指導（高等学校）—動画配信形式の授業で読解指導から「書く」指導に繋げるまで— 小泉尚子（中央大学杉並高等学校）

G会場 司会：藤森裕治（文教大学） 河野順子（白百合女子大学）

- G1 再読を促す問いの工夫—「注文の多い料理店」の語りに着目して—
 岩崎直哉（新潟市立大形小学校）
- G2 学習者の読みを深める問いづくりの学習デザイン
 鈴木真樹（相模原市立富士見小学校）
- G3 小中学校段階における国語の深い学びに関する研究—実践記録の分析から—
 藤田智之（京都教育大学大学院・院生 京都教育大学附属京都小中学校）
- G4 輪になる活動における国語教育学的考察
 藤森裕治（文教大学）

H会場 司会：小川雅子（山形大学） 富安慎吾（島根大学）

- H1 古典教育における言語観の変容に関する研究
 小澤まみ（東京学芸大学教職大学院・院生）
- H2 学習者の漢字学習に対する意識をどのように指導に生かすか
 三國大輔（富山県氷見市立南部中学校）
- H3 母語話者と非母語話者における作文の誤りの比較
 安部朋世（千葉大学） 橋本修（筑波大学） 永田里美（明星大学）
 田中佑（文部科学省） 西垣知佳子（千葉大学）
- H4 漢字の運用・学習に影響する漢字観についての検討
 富安慎吾（島根大学）

◎公開講座Ⅱ(Zoomミーティング+YouTube Live) 15:00~17:40

詩の書き方は教えられるのか？

第1回詩創作指導の実践とその歴史から

- コーディネーター 澤田英輔（軽井沢風越学園）
 児玉忠（宮城教育大学）
 竹本寛秋（鹿児島県立短期大学）
 後藤和彦（田辺市立近野中学校）

※Zoom会場によるワークショップ参加希望者は以下よりお申込みください（先着50名）。

公開講座ワークショップ申し込みサイト(無料)

<https://forms.gle/CNSGYKjnFPMQ7hrH9>

※Zoom会場の様子を、YouTube Liveで視聴することができます。

<https://www.youtube.com/channel/UCYZuxl-z7mTZeJRLy1TJ0Vw>

※Youtubeライブの視聴では、登壇者や参加者との交流はできません。

※公開講座Ⅱは**事前に視聴していただく動画**があります。10月25日20:00に以下のURLにアップロードされますので、当日までにご視聴ください。

<https://www.youtube.com/channel/UCYZuxl-z7mTZeJRLy1TJ0Vw>

◎自由研究発表（紙面発表）

【10月31日（土）～11月7日（土）】※ポータルサイト掲載及び質疑応答可能期間

*発表者の五十音順

- S1 落語に内在する「ものの見方や感じ方」の国語科教材としての価値
青砥弘幸（佛教大学）
- S2 文学作品で論理的思考力を育てる―「山月記」授業を例に―
池田尚子（中央大学杉並高等学校）
- S3 「感性」・「感性的思考」の評価に向けての試み
植西浩一（広島女学院大学）
- S4 戦後説明的文章指導論始動期の再検討(3)―国語教育再出発時期の言説をめぐって
植山俊宏（京都教育大学）
- S5 国語教育における「語彙」再考―自律的な語彙と心理的な語彙の接点に着目して―
岡本岳之（北海道天売高等学校）
- S6 発表辞退
- S7 明治後期の国語教育における言語学者藤岡勝二の言語思想の影響について ―「棒引き
仮名遣い」の成立と消失を巡って― 柿木重宜（関西外国語大学）
- S8 「比較」で深める文学の解釈―『山月記』実践報告―
加藤晴奈（立教英国学院）
- S9 小学校教科書の語彙調査―他教科に資する国語科語彙指導に向けて―
河内昭浩（群馬大学）
- S10 話し合いの相互視聴によるメタ認知の育成―テレビ会議システムを活用した話し合い
学習の試み―
黒田麻衣子（鳴門教育大学）
- S11 伝承物語の学習指導研究（小学校低学年）
國府田祐子（松本大学）
- S12 「言葉による見方・考え方」を働かせ、育てる授業の在り方とは
小林康宏（和歌山信愛大学）
- S13 小学生の語句調べにおける検索行動の検討―紙の辞書と電子辞書の比較を通して―
小林祐美（筑波大学大学院・院生）
- S14 学習指導要領からみる小学校国語科「書くこと」の変遷に関する一考察
篠原京子（東京未来大学）

- S15 writing modalityと成果との関係に関する調査研究(2) 一連想を記述した語の分析を中心に一
鈴木慶子(長崎大学) 劉卿美(長崎大学)
長岡由記(滋賀大学) 千々岩弘一(鹿児島国際大学)
- S16 中高生の読むことへの取り組みを促す教育評価に関する検討—Jeffrey D. Wilhelm(2016)“You Gotta BE the Book”(Third Edition)を手がかりとして—
高瀬裕人(琉球大学)
- S17 教科横断的アプローチによる写真俳句の実践—伝統的な言語文化を主体的に発展・発信する高校生の育成—
高松美紀(東京都立国際高等学校)
- S18 『視聴覚教育』誌にみる国語科メディア教育の展開
瀧口美絵(広島都市学園大学)
- S19 小学校教員の読書指導力養成に関する研究
滝浪常雄(名古屋学院大学)
- S20 社会や自分との関わりで古典を生かすための古文読解モデルと授業化についての研究(2)
武久康高(高知大学)
- S21 国語科授業実践の目標設定に関する検討—輿水実の論考を中心に—
竜田徹(佐賀大学)
- S22 語彙教育をどう展望するか
塚田泰彦(関西外国語大学)
- S23 国際的俳句指導プロジェクトの展開
中西淳(愛媛大学)
- S24 中学校・読むことの学習における学習意義の実感に関する研究(3)—「報告書」学習を通じた説明的文章の論旨への着眼とその吟味—
中山莉麻(京都教育大学附属桃山中学校)
- S25 主体的・対話的で深い学びのための「聴く力」
西田喜一(名古屋大学大学院・院生) 鬼頭孝佳(名古屋大学大学院・院生)
- S26 小学校国語科における論理的文章を「書くこと」の学習指導研究
西山悦子(東京都台東区立東泉小学校)
- S27 中・高等学校国語科における報告の文章指導の研究
長谷川祥子(青山学院大学)
- S28 「共通語・方言」学習における「気づき」の諸相
原田大樹(福岡女学院大学)
- S29 「見る」を含む学習の系統性(7)—源氏物語「鈴虫」—
坂東智子(山口大学)
- S30 小学校における「読むこと」指導の系統性を意識した授業研究—「思考力の育成」をねらいとした指導を通して—
比江嶋哲(宮崎大学教職大学院・院生)
- S31 中学生の日本神話に関する知識の実態—「伝統的な言語文化」の教育とポップカルチャー—
船越亮佑(穎明館中学高等学校)
- S32 データと判断—高三生が「大阪モデル」を分析する—
榊井英人(大阪府立北野高等学校)

- S33 小学校国語科における文学的文章指導の提案—幼小接続期の読み聞かせから高学年の指導を見通して— 増田泉（常葉大学）
- S34 小学校におけるメディア教材を活用した国語科学習指導（3） 松岡礼子（大阪教育大学） 粟野志保（吹田市立吹田第一小学校）
- S35 児童・生徒作文における条件表現の出現状況—「手」を題材にした作文の場合— 松崎史周（国士舘大学）
- S36 『対人的知性』を育む国語科実践—「伊勢物語 筒井筒」の場合— 丸岡千晃（広島大学大学院・院生）
- S37 中学校文学教材「トロッコ」の実践史研究 村上永里菜（京都教育大学大学院・院生）
- S38 中学校国語科「学習用語」とその指導法の開発 柳谷直明（上砂川町立中央小学校）
- S39 時枝誠記の国語教育論について—『国語教育の方法』から『改稿国語教育の方法』への展開— 吉田雅昭（帝塚山大学）
- S40 探究的な国語科学習指導の開発に向けて 濱野天司郎（立教英国学院）
-

【自由研究発表（Zoom）についてのQ&A】

Q.会場はどのようになっていますか？

- ・ポータルサイトに分科会会場のZoomにアクセスできるURLが掲載されます。
- ・通常の対面学会と同じく司会者が存在し、1会場4人が発表します。
- ・途中で別の分科会会場に移動することもできます。

Q.発表はどのように行いますか？

- ・発表者はPC等でZoomを操作して、同時双方向で発表を行ってください。
- ・発表者へのZoomの技術的支援は行えないため、事前に基本的な使い方について慣れておいてください。Zoomは最新のバージョンにアップデートし、マイクやカメラのテストを事前に行ってください。両日とも、14時50分から接続テストを行います。発表者の方は、この時間には分科会会場にお越しください。

Q.発表時間は何分ですか？

- ・発表時間は20分、質疑応答は10分です。
- ・発表者間の接続切り替え時間として5分程度設定していますが、これを越える準備時間は発表時間に含まれます（進行の都合上、発表時間の延長はできません）。進行次第で接続切り替え時間が短くなる可能性がありますので、ご了承ください。

Q.発表資料はどうすればいいですか？

- ・発表資料は、ポータルサイトに掲載された4ページの発表要旨に加えて、スライドなどを画面共有で提示することができます（画面共有は必須ではありません）。
- ・要旨以外の資料のデータ配付はサポートいたしません。追加資料をデータ配付したい場合は、各自の方法（要旨や当日スライドまたはZoomのチャットで、追加資料にアクセスできるURLやQRコードを示す、チャットでデータを送信する等）で配付してください。

Q.質疑応答はどのように行うのですか？

- ・自由研究発表の質疑応答は、次の流れで行います。
 - ①質問希望者が「手を挙げる」ボタンを押す
 - ②司会者が指名する
 - ③指名された質問者が質問する
- ・質問をしたい方は、マイクを用意しておいてください。
- ・課題研究・公開講座・総会は質疑応答の方法が異なるため会場で説明をいたします。



- ①「参加者」をクリックします。
- ②「手を挙げる」をクリックします。
- ③手を挙げると、自分の名前の横に青い手のマーク(👋)が表示されます。

【参加したいコンテンツ別 申し込み案内】

○自由研究発表に参加したい／課題研究に参加したい

会員	非会員
<p>https://iap-jp.org/jtsj/conf/top/indexから「参加申込み」を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none">・参加費は会員5000円・学生会員3000円です。・当日は https://www.jtsj.org/taikai/オンライン大会/から当日特設ページにアクセスしてください。	<p>https://iap-jp.org/jtsj/conf/top/indexから「参加申込み」を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none">・参加費は6000円です。・当日はhttps://www.jtsj.org/taikai/オンライン大会/から当日特設ページにアクセスしてください。

○公開講座に参加したい（いずれも参加費は**無料**です。）

コンテンツ	会員 & 非会員
公開講座Ⅰ（10/31 9:30-12:30） 国語科における「論理」教育の射程～「論理国語」の実施も見据えながら～を視聴したい	参加申し込みは不要です。Zoomウェビナーで行います。10月31日9:00開場です。以下のURLで開催します。 https://zoom.us/j/97443835761?pwd=bIY3a0IJVWtpcHRGR3ZQREZ1SGINUT09
公開講座Ⅱ（11/1 15:00-17:40） 詩の書き方は教えられるか？ 詩創作指導の実践とその歴史から の ワークショップ に参加したい	（ https://forms.gle/CNSGYKjnFPMQ7hrH9 ）から参加申し込みを行ってください。申し込みは10月6日20:00から行うことができます（ 先着50名 ）。Zoomミーティングで行います。参加の際はマイクをご準備ください。
公開講座Ⅱ（11/1 15:00-17:40） 詩の書き方は教えられるか？ 詩創作指導の実践とその歴史から を視聴したい	参加申し込みは不要です。YouTube Liveで視聴できます。11月1日14:50開場です。以下のURLで視聴してください。 https://www.youtube.com/channel/UCYZuxl-z7mTZeJRLy1TJ0Vw 質問などを行うことはできません。

6. お問い合わせ

細川太輔（東京学芸大学） E-mail: taisuke@u-gakugei.ac.jp

7. 実行委員会

Twitter @jtsj_zkdg #jtsj #全国大学国語教育学会 #国語教育

実行委員長

児玉忠（宮城教育大学）

実行委員

長田友紀（筑波大学） 勝田光（東洋大学） 勘米良祐太（名古屋女子大学）

古賀洋一（島根県立大学） 澤田英輔（軽井沢風越学園） 住田勝（大阪教育大学）

寺田守（京都教育大学） 富安慎吾（島根大学） 中井悠加（島根県立大学）

羽田潤（兵庫教育大学） 細川太輔（東京学芸大学）